

○事業所名	放課後等デイサービス ビリーブ 保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	2025年12月10日		2025年12月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年12月10日		2025年12月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2025年12月15日		2025年12月23日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2	(回答数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所が多機能型であり、相談支援や放課後等デイサービスと保育所等訪問支援を併用するケースが多く、学校や放課後における子どもの姿が2回の訪問支援以上に見えることで、ニーズの把握がしやすく支援につなげやすいところ。	放課後等デイサービスが同敷地内に3カ所あり、会議等を通して、職員間で情報共有や連携を行っている。子どもの困り感や悩みなど、連携や支援方法を検討しながら、支援の内容や方法を工夫している。	相談支援事業所や放課後等デイサービスと、今後も継続して情報共有や連携を行っていく。 利用者のニーズや状況は変わっていくため、その時々状況や成長に応じて、訪問先施設や保護者と連携をとりながら支援の充実を図っていく。
2	放課後等デイサービスとの併用、連携もあり、保護者の方との連携も密にとりやすいことから、より具体的な情報共有や支援、連携を行うことができる。	学校や放課後における子どもの姿が見えることで、ニーズの把握がしやすく、また保護者との連携も密にとりやすいことから、より具体的な情報共有や支援、連携を行うことができる。また、学校や保護者との間の立場で相談や連携がとれるように工夫しながら対応している。	成長とともに支援内容の見直しや保護者の意見や本人の意見を聞きながら、学校と共有し、その時々状況に応じて臨機応変に対応し、支援の充実やサービスの質の向上を図ってきたい。
3	訪問先が、放課後等デイサービスの利用児童の学校ということで、学校の先生とも初めてではなく、関わりがあるので、お互いに連携や相談がしやすいところ。	多機能事業所であり、放課後等デイサービスや相談支援事業所と情報共有や連携等を行っている。 新規訪問先施設には事前に訪問し、保育所等訪問支援の趣旨や目的、学校への入り方などを説明する機会を設けている。	学校訪問支援の在り方などに関心をもって頂き、成功事例などを伝えながら、新規訪問先につながるよう知ってもらう機会をつくっていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援の担当が限られており、たくさんの学校へは新規で支援に行けてないこと。	希望しているご家庭はあるが、なかなか通ってる学校の受入れ体制の許可につながらず、訪問支援に行けないところがある。	学校訪問支援の在り方や趣旨を伝える機会を増やしながら関心をもって頂き、成功事例などを伝えながら、新規訪問先につながるよう知ってもらう機会をつくっていく。
2	新規訪問先への制度の説明などを伝える機会をつくったが、学校によっては、なかなか受け入れてもらえず、新規の訪問支援先を増やすことができていない。	学校との連絡調整や訪問先施設への入り方など、それぞれの訪問先施設の状況に応じた対応や支援の充実を図っていく。	実際に支援に行っている学校の事例を話しながら、制度や支援の内容を知ってもらい、現場の先生との連携や対応などを伝えながら、受け入れ訪問支援先を増やしていけるよう支援の充実やサービスの質の向上を図ってきたい。
3			

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス ビリーブ 保育所等訪問支援

公表日 令和 8年 3月 6日

利用児童数 2名

回収数 2名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	2				特になし	
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	2				特になし	
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	2				特になし	
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	2				特になし	
適切な 支援の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	2				特になし	
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2				特になし	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2				特になし	
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	2				特になし	
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2				特になし	
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2				特になし	
保護者 への 説明等	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	2				特になし	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2				特になし	
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2				特になし	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2				特になし	
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができていると思いますか。	2				特になし	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2				特になし	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2				特になし	
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2				特になし	
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2				特になし	
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	2				特になし	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	2				特になし	
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	2				特になし	
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2				特になし	
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2				特になし	
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	2				特になし	
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2				特になし	
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	2				特になし	
	28	事業所の支援に満足していますか。	2				特になし	

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和 8年 3月 6日

放課後等デイサービス ビリーブ 保育所等訪問支援

利用児童数

2名

	チェック項目				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いいない	いいえ		
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2	0	0	児童がトラブルを起こした際の話の聞き方、未然に防ぐための話の仕方など参考になりました。	今後も放デイや学校と連携しながら子どもの特性にあった支援の共有ができるようにしていきたいと思っています。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2	0	0	先生が来てくださると、児童がすごくやる気を出し、たくさん褒めることができました。	こちらこそ、いつも情報共有していただきありがとうございます。今後も個々の児童に対する必要な支援を一緒に考えていきたいと思っています。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2	0	0	お忙しい中、たくさんのアドバイスや情報提供をありがとうございます。	今後も情報共有しながら、質問や相談にご協力できるようにしていきたいと思っています。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2	0	0	学校生活を頑張れる仕組みや出来事の振り返りをしてくださってとても助かりました。	こちらこそ、いつも情報共有していただきありがとうございます。今後も個々の児童に対する必要な支援を一緒に考えていきたいと思っています。
5	事業所からの支援に満足していますか。	2	0	0	薬の管理、学校生活の振り返りをしてくださりいつもありがとうございます。	今後も放デイや相談支援、病院と連携しながら学校にも服薬等の情報共有をするように努めていきたいと思っています。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
特になし					お忙しい中、貴重なご意見ありがとうございます。 学校での様子やトラブルに対する情報共有を現場で直接して下さったり、電話での対応もして下さり、一年を通して利用児童の変化、成長と一緒に支援しながら見守ることができて嬉しく思っています。今後も引き続き、できる限り学校での生活がスムーズにおくれるよう、また学年が上がって落ち着いて活動に参加できるよう、一緒に支援内容を考えながら連携をとっていききたいと思います。	

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ビリーブ 保育所等訪問支援			公表日	令和 8年 3月 6日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	<input type="radio"/>		困った時の意思表示カードや約束カードや約束表等を提供したり、服薬管理のケース等の作成し情報や方法を共有して支援している。	成長とともに利用児童にあった支援内容や方法の工夫を現場の先生と話しながら進めていきたいと思っている。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		今年度は利用児童が少なく、少人数で対応しているため、訪問は基本一人で同じ人が行っている。	訪問先が増えたり、利用者が増えたりした場合は、職員の対応する人数も変更していく予定でいる。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		PDCAサイクルを意識して業務を行い、より多くの職員が参画できるよう努めている。	多機能型なので、今後も継続して放課後等デイサービスと情報共有しながら支援計画を考えて進めていきたいと思っている。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		訪問の様子などを情報共有しながら、家庭や学校の様子を把握する機会を作りながら支援している。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		会議や各事業所内において意見交換の機会を設けており、業務改善に努めている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	訪問先からの評価をいただきながら、今後の対応や改善につなげている。	事業を始めて、1年のため、まだ実績が少ないので、実績を重ねながら色々な方の評価や意見を聞いて改善に繋げていきたいと思っている。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		事業所内で研修を実施したり、外部研修を受講したりなど、研修の機会を設けている。	
	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		多機能型なので、放デイとの連携がとりやすく、放課後も関わることができるため、本人や保護者の意見を聞くことができている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		多機能型なので、放デイや相談支援など共通理解の下で支援を行えるよう、会議等で情報共有を行いながら、支援計画を検討している。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	<input type="radio"/>		訪問先施設の先生などと連携しながら必要に応じた訪問支援計画の内容を決め作成し、共有している。	

適切な支援の提供	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に沿った支援が行えるよう、職員間での共有や支援の在り方を見直し、支援を行っている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		フォーマル・インフォーマルなツールを用いて子どもの適応行動の状況を確認しながら変更して支援している。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		保育所等訪問支援計画に具体的な支援内容が設定されるよう、ガイドラインの内容を踏まえて作成している。	成長とともに利用児童にあった支援内容や方法の工夫を見直しながら支援していきたいと思っている。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		多機能型なので、放デイや相談支援などと話し合いながら計画支援など共有している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		現在に対応は1人であるが、同じ建物内の放デイと連携しながら訪問支援の日程決めをしたり、情報共有したりしている。	利用希望者数や状況の変化に応じて、職員の配置数を見直しながらチームで連携していきたいと思っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		同じ建物内の放デイ職員間での打ち合わせを行うことで、より多くの視点から振り返りを行い、より良い支援につなげている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先施設の理念や教育方針などを確認し、同意の上で支援に行っている。	新規の訪問先の確保、同意を得られるよう福祉サービスの理解を伝えていきたいと思っている。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		できるだけ記録を取ることを徹底し、クラウドノートや録音など取り入れながらよりよい支援につなげている。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		学校との話し合いや聞き取り用紙も活用して書いて頂いた上で検討して行っている。	
関係機関や保護者	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		多機能型なので、放デイや相談支援、学校などと3月に行い、支援の共通理解に繋げている。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		病院同行をさせてもらい、医療機関とのやり取りを行うことで服薬の内容理解や支援方法を学校と情報共有し、支援に繋げている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		該当する利用者があまりいないため、今後の利用状況、必要に応じて行っていきたいと思っている。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		できるだけ外部研修の機会に参加し、支援の質向上に努めている。	

との連携	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○	基本参加しているが今年は協議会の研修と予定が合わずに参加できてない。研修内容は放デイや相談事業所の研修参加した職員から情報共有させてもらい学ばせてもらっている。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		○	保護者との共通理解を持てるよう、日頃から情報共有や連絡を大切にしている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	多機能型なので、三事業所も含めての親子交流会などを行って、ご家族も参加できるようにしている。	家族への情報提供や提案を行い、家族の対応力向上を図っていきます。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○	説明を行い、またわからないことは、聞けるようにして対応している。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。		○	訪問先施設で、事前に趣旨や目的等について説明する機会を設けた上で、進めている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		○	計画作成の際には、子どもや保護者の意思が尊重されるよう、電話やモニタリング等で意向を確認し、成長に合わせて工夫している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。		○	保護者から同意の上で支援を行っている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。		○	多機能型なので、支援の2日間以上に連絡とる機会やお会いする機会があるため、悩みや相談しやすい環境で助言や支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	今年は三事業所合同で親子交流会を開催し、保護者やきょうだい同士で交流する機会を設けている。今後も継続していく予定。	
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	相談や申し入れ状況に応じて、その日のうちに連絡をとって迅速に対応している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	HPのブログや活動写真の配布などを行い、子どもや保護者に情報発信をしている。今後も継続していく予定。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	取り扱いに気を付けながら十分留意している。	

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもや保護者の状況に応じた意思疎通や情報伝達が行えるよう方法を考えて行っている。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		助言や支援が行えるよう、事業所内で連携をとっているため、放デイ職員や学校と連絡、相談しやすい体制、環境になっている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問支援実施後は、訪問先施設とのカンファレンスや振り返り、次回へ繋げるための情報共有などを行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		保護者の状況に応じて、書面や電話などで支援内容の共有や報告を行っている。学校からの伝達もある場合は連携を行っている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		訪問先施設においても、取り扱いに気を付けながら十分留意している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		訪問先施設とのコミュニケーションをとりながら信頼関係を築き、その時の状況に応じた支援を一緒に考えて助言したり、道具の提供をしている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		多機能型で、放課後等デイサービスと同じ建物なので、一緒に訓練を実施している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		多機能事業所であるため、放課後等デイサービスと合わせて毎年研修や訓練を実施している。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		今のところヒヤリハットはないが、他の事業所と連携をとりながら、しっかり共有できるような体制になっている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		同事業所内で放課後等デイサービスと一緒に職員研修を行っている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		やむを得ない身体拘束について、子どもや保護者に十分説明し、了解を得た上で保育所等訪問支援計画に記載している。	